

## 薦田義清墓所（薦田神社）



国道11号線の根々見交差点西側を南に上っていき、高速道路の側道に出る手前の小道を西側に入ったところに薦田神社がある。薦田神社がある場所は、渋柿城の麓に当たる場所である。

玉垣に囲まれた一段高くなったところに立派な五輪塔があり、正面に「俗名 薦田治部進義清」と刻まれている。渋柿城主薦田義清のお墓である。

渋柿城主であった薦田義清は、1379年（天授5年）に北朝方の細川頼之氏との戦いで南朝方の河野氏と共に戦い、戦死した。その後渋柿城主として名が見えるのは、薦田国行で、国行は1585年（天正13年）、豊臣秀吉の四国征伐の命を受けた小早川隆景軍によって西条の野々市原の合戦で戦死した。

また、義清のお墓の脇には、御台所のお墓があり、正面に「清諦暉芳大禅尼」と刻まれている。土居町誌によると、元々は里城近くの田の中にあつたようである。

また、畑野の薦田踊り（市無形文化財）とは別に、小林にも薦田踊りがあり、地域の人々が義清の遺徳を偲び、霊を慰めるために旧盆の8月15日には義清公の墓前で奉納していたようである。土居町誌には、「薦田氏の善政がしのばれてゆかしい。」と記されている。